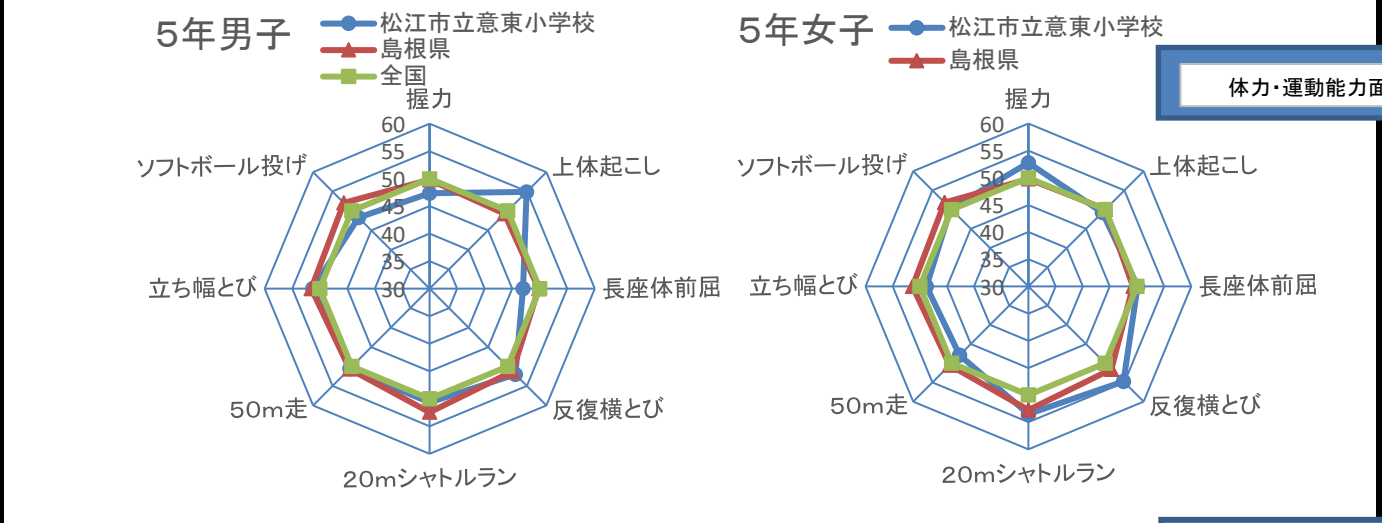
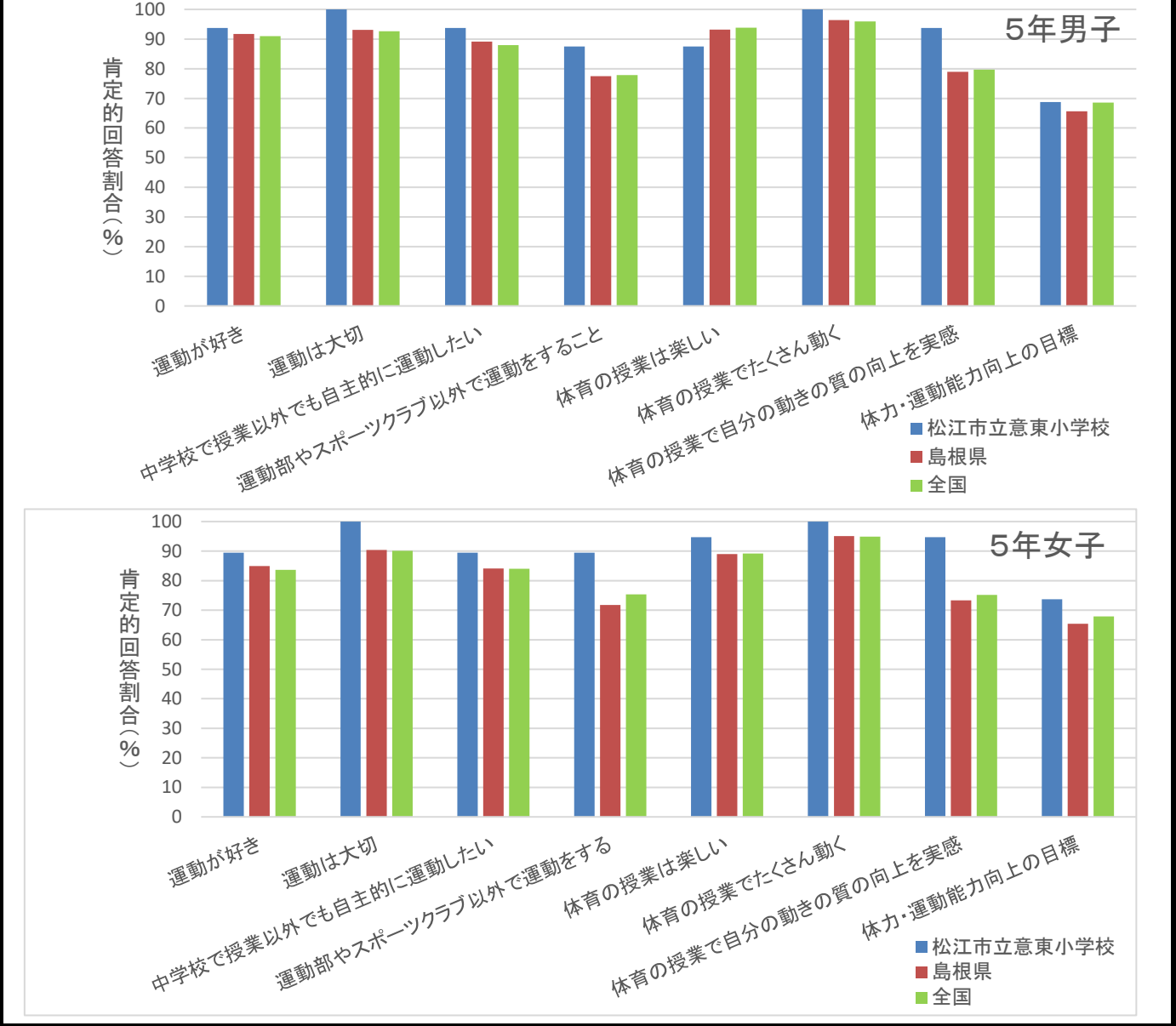


(1) 令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(全国平均を50としたときの比較)

(2) 調査結果の分析



全国体力・運動能力調査、運動習慣等調査＜意識調査＞の結果
(体力合計点との相関が指摘されているものや松江市教育委員会として注目しているものを挙げています)



①体力・運動能力面
強み ○男子では「上体起こし」「反復横とび」が全国平均を上回っている 特に「筋持久力」が強み。 ○女子では「反復横とび」「20mシャトルラン」が全国平均を上回っている。特に「敏捷性」が強み。
課題 ●男子では「握力」「長座体前屈」が全国平均を下回り、特に「柔軟性」が課題。 ●女子では「50m走」「立ちとび」において全国平均を下回り、特に「走力」が課題。
次年度の対策 男子は筋力アップを、女子は50m走、立ち幅とびなどの瞬発力系の運動が必要。そのために、総合的なトレーニングとしての、5種目走やサーキットトレーニングを体育時に取り入れて、体力向上に努めたい。

②意識面
強み ○男子では「運動は大切」「体育時の自分の動きの質の向上を実感」の割合が全国平均よりもかなり高い。 ○女子では「運動部以外でも運動する」「体育時の自分の動きの質の向上を実感」の割合が全国平均よりもかなり高い
課題 ●男子では「体育の授業は楽しい」の割合が全国平均よりも低い。 ●女子では全国平均よりも低い結果は一つもなかった。
次年度の対策 意識調査の結果はよい。特に「体育時の自分の動きの質の向上を実感」をしているので、今後も授業の進め方を工夫したり、効果的なワークシートを準備したりして「楽しい体育」を目指していく。

(3) 令和4年度の方針【学校全体での取組】

- ①体力向上や体育授業に関する校内研修等の計画について
・校内で授業を実施する。その授業内容は、課題克服のためのアプローチとしての授業。その授業を通して、課題克服への共通理解を図り、学校全体で取り組みたい。
・先進校の研究授業に参加し、課題への取り組み方の参考とし、課題克服にあたる。
- ②体育科授業の工夫・改善について
・授業改善に関する内容としては、引き続き5種目走を行う。また、新たに「意東小サーキットトレーニング」を作成し、課題克服に取り組む。
・学期に1回、50m走を計測し、子どもたちにも向上している数値を提示することによって、関心・意欲を高めて課題克服にあたる。
- ③体育授業以外の活動の工夫について
・これまでやってきた、2学期の「マラソン大会」や3学期の「なわとび集会」を軸として取り組む。また、その運営の一端として、体育委員会に運営に参加させ、子どもたち自らが主体的に取り組めるようにする。
- ④家庭・地域・近隣の学校・園等との連携に関する内容
・マラソン大会は、保護者の参観を可能としている。そのため、子どもたちの意欲も高いので、引き続きその方向で取り組みたい。また、なわとび大会もカードでその取り組みを評価し、認定証を出すなどして、家庭との連携を図る。